



千葉県出身者からの
メッセージ



千葉県少年野球連盟創立 50 周年に寄せて

小笠原 道 大

創立 50 周年おめでとうございます。

長い歴史を築かれてきたことに心より敬意を表したいと思います。

今現在コロナ禍という状況の中、創意工夫を凝らし大会や練習の場を設けていることもとても大変なことだろうと思います。

プロ野球も中断した時期もありましたが、再開してからは声を出すことは禁じられながらもスタンドで応援してくれるファンの皆さんの姿を見ると野球というものがもたらしてくれるかけがえないものを改めて感じました

親から子へ、先輩から後輩へ、野球というスポーツを通じて次世代へつないでいくということのすばらしさを感じています。

私は小学校 2 年生、7 歳の時に野球を始めました。父に言われるがまま練習に連れていかれて急に野球をやれと言われたことを今でもはっきりと覚えています。ただすぐに夢中になり父と毎日毎日家の前で素振りや新聞紙で作ったボールを打ち込む日が日課となりました。

それが苦になることもないくらいうまくなりたい一心で夢中になって練習しました。

それから今日まで野球漬けの日々を送れていることをとても幸せに思っています。

それも 7 歳で始めたときに周囲のたくさんの大人の方々にお世話になり、ボールを追い続ける基礎を作れたからだと思います。

私の名前を冠とした少年野球大会は今年で 15 回目を迎えました。この大会を目標に頑張っていますなどという言葉が聞くと微力ながら千葉県の野球に役に立っているのかなとうれしくなります。今後はこのような大会の賛同者を募りチャンピオンシップなど千葉県ならではの野球環境造りも行っていきたいと思います。千葉県の野球を盛り上げるためにベースとなる少年野球に日頃からご尽力くださっている関係各位の皆様に敬意を表し、より一層発展していくことを心より祈念いたします。

このような厳しい状況ではありますが、子供たちがただただボールを追いかけることができる日々が続きますようみんなで見守りと力を合わせて頑張っていきたいと思います。



千葉県少年野球連盟創立 50 周年に寄せて

高橋 由伸

連盟創立 50 周年、誠におめでとうございます。

千葉県、巨人軍といえば長嶋茂雄終身名誉監督、小笠原道大さん、阿部慎之助さんら多数の偉大な野球人がいます。好きで始めた野球を職業にできた私も、その一員となれたことを大変誇りに思いますし、「生浜ヤンキース」時代があったからだと、改めて感謝しています。

一番の思い出は、5、6年生と2年連続で県の優勝チームになったことです。勝つことの喜び、良い結果が出たことによって生まれる自信は、その後の人生にも大きく役立ちました。

小学校時代、一番大切にしていた事は「継続すること」でした。一度やると決めた事は、毎日必ずやる。地道な努力こそが上達への近道であり、高校、大学、プロ野球と、その後も「我慢強く続ける」事を常に意識し、日々を過ごしていました。ホームランバッターになりたいのであれば、毎日素振りをする、守備の達人になりたいのであれば必ず壁当てをする、しっかりと目標を決めて、それに向かって「毎日」コツコツと努力して欲しい。「毎日」というところを強調したいと思います。

野球を通じての経験、人間形成は一生の財産になります。また、その先にプロ野球というものがあれば、千葉県出身として、プロ野球界のOBとして大変嬉しく思います。連盟の益々の発展と野球に打ち込む少年、少女の健やかな成長を心より祈念致しております。



千葉県少年野球連盟創立 50 周年に寄せて

林 昌 範

この度、千葉県少年野球連盟が創立 50 周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

私の野球人生は、皆さんと同じような年頃、船橋市の少年野球チーム「ハサマシーホークス」(現「ツインドルフィンズ」)でスタートしました。当初、私はキャッチボールすら上手に出来ませんでしたが、当時の監督・コーチの厳しくも温かいご指導の下、チームの仲間と共に練習に打ち込み、リーグ戦で優勝できた喜びは今でも鮮明に覚えています。そのような少年野球での楽しい経験があったからこそ、その後続く、中学・高校、そして 16 年間のプロ野球生活を過ごすことが出来たのだと思っています。

私が野球人の先輩として皆さんにアドバイスをさせていただくとすれば、次の 2 つを挙げます
まず「最後まであきらめずに継続すること」。

どのようなスポーツでも、楽しい時だけではありません。苦しい時、つらい時、何をやってもうまくいかない時など、いわゆる壁にぶつかる時があります。しかし自分を信じて練習を継続していれば、必ず成功への道が見えてくると思います。

かく言う私も現役時代、結果が良くなかったり、体が疲れて思うようにプレー出来なかった時、何度も休みたいと思うことがありました。そのような時でも、投球フォームの確認のために行う『シャドーピッチング』は、試合後に欠かさず行いました。その結果、マウンド上での大きな自信につながりました。

次に「感謝の気持ちを忘れないこと」

適切な指導や安全な練習を考えてくれるチームの監督・コーチ、気持ちよく練習や試合をさせてくれる関係者の方々。そしてみなさんをいつも陰で支え応援してくれるご家族の方々。皆さんが球場でプレーできるのは当たり前と感じることなく、周囲の方々に感謝の気持ちを常に忘れることなく真摯に野球に取り組んでほしいと思います。

最後になりますが千葉県少年野球連盟が、今後も少年たちに野球の楽しさを教え、年達が野球を通じて大きな夢を持ち、心身共に健康に育つよう、ますます活発な活動を続けられます事を願っております。そして故郷から一人でも多くのプロ野球選手が輩出されることを期待しています。



千葉県少年野球連盟創立 50 周年に寄せて

東京ヤクルトスワローズ
ドラフト 1 位 (2021 年)

山下 輝

創立 50 周年おめでとうございます。

新型コロナが蔓延して約 2 年が経とうとしています。ようやく少しずつですが、日常が戻ってきました。僕もそうですが、小学生の皆さんも野球がグラウンドでできることを楽しみにしていました。これから今までのぶん、おもいきり野球をやりましょう。

僕は兄が 2 人いて、その影響で 3 年生の時に学校の野球チーム 木更津岩根フェニックスに入りました。それから大学までずっと野球をしてきてなんとかプロ野球選手になれました。今の僕が少年野球をやっている皆さんに言えることは、野球を意地でも続けることです。

中学生の時は、7 人しか部員がいなかったもので、チームでいちばんうまかったですが、中学の選抜や高校、大学などでは、周りにすごい選手ばかりだし、とてもやっていける自信がありませんでした。それでも大好きな野球を少しでも長くやりたくて毎日コツコツ継続していた事がよかったのだと思います。

だから今、周りの仲間より全然うまくなくても、自分がプロ野球選手になりたいと思っているなら人とくらべるのではなく、周りの人が何を言おうと気にせずにやるべきです。

最後に皆さんへのアドバイスをひとつ、これから成長期が必ずきます。そのためには今からたくさん食べてたくさん寝ることです。

共にがんばりましょう。



千葉県少年野球連盟創立 50 周年に寄せて

東北楽天ゴールデンイーグルス
ドラフト 1 位 (2021 年)

吉野 創 士

千葉県少年野球連盟創立 50 周年、大変におめでとうございます。

このような素晴らしい記念誌にメッセージを送らせていただける事をとっても光栄に思います。ありがとうございます。

小学 1 年から始めた野球。当初はまだよくわからずグラウンドでありんこ探しをして遊んでいました。そんな自分が野球に夢中になったきっかけは 1 本のヒットからでした。

ボールがバットにうまく当たらず悔しくて父に頼み練習に付き合ってもらい毎日バットを振り続けました。小学 2 年の時、先輩に交じって試合に参加。緊張しながらも負けられない思いのなか、めぐってきたチャンスでの打席。無我夢中で振ったバットからヒットとなり打点がつきました。あの時のチーム全員が盛り上がった光景は今も覚えています。

毎日コツコツ、バットを振り続けた結果だと思いました。それからはやればやるだけ結果となって返ってくるようになり、もっと打ちたい！もっと勝ちたい！と思うようになったのです。野球が生活の一部になっていきました。あのヒットが私の心に野球への情熱の火をつけたことは間違いありません。

時として何度やっても出来ないこともあります。でもやろうとして頑張った努力は、全部自分への『力』となります。『あの時、やっておいてよかった！』と必ず感じることでしょう。

あきらめることなく、練習に取り組んでみてください。やったー！と喜べる日が増えていきます。私がそうでしたから ...

そして、1 番は自分を応援してくれる全ての人への感謝を絶対に忘れてはいけません。

家族はもちろん、監督、コーチ、父兄の方々。

皆さんがいてくれるからこそ、大好きな野球が出来ることを忘れずに全力プレイで恩返ししていきましょう。

自分もプロとして東北の方々をはじめ、全国の野球ファンの皆さんへ感動を届けられるよう頑張っていきます。この記念誌を読んだ少年達といつか一緒にプレイ出来ることも楽しみにしています。みなさん、頑張ってください!!



千葉県少年野球連盟創立 50 周年に寄せて

千葉ロッテマリーンズ
ドラフト 2 位 (2021 年)

池 田 来 翔

千葉県少年野球連盟が 50 周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

私は、八千代市の北東タイガースに所属して、みなさんと同じように小さな頃から白球を追っていました。少年野球時代を振り返ってみると楽しい仲間と賑やかに野球をしたことを思い出します。

試合に勝ってみんなでガッツポーズをして喜んだり、試合に負けてみんなで泣いたりしたこともありました。正直、野球を辞めたいな。とも思ったこともありました。そのような時も辞めるなよって言ってくれたのは、いつも一緒にいる仲間でした。今の私があるのも、その仲間のお陰だと思っています。感謝しかありません。今でも少年野球時代の仲間とは一緒に食事をすることもあります。人は一人では何も出来ません。みなさん、今一緒に頑張っている仲間を大切にしてください。

また、私は指導者の方にも恵まれていました。野球経験が豊富な指導者の方も何人もいらして、野球に必要な基本動作やルール、取り組み方、練習方法など私が野球を続けて行く中で大きな財産となりました。今でも教えていただいたことを思い出して練習することも多くあります。

みなさまも素直な気持ちで沢山のことを指導者の方から学び、良い野球選手になれるよう頑張ってください。

私からみなさまに対してのメッセージとしては、これから野球を続けていく中で、「常に全力、常に真剣、常に感謝」の気持ちを持って頑張ってくれば幸いです。

最後になりますが、私事で大変恐縮ですが 2022 年より地元である千葉ロッテマリーンズに入団することとなりました。まだまだ未熟者でありますのでみなさまの応援を力に変かえて頑張りたいと思いますので、是非、球場に来て応援の程よろしくお願いします。